

## 5. 成果の論文発表・口頭発表等

### (1) (サブテーマ1)

#### (a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
石山達也・ 加藤直子・ 越谷 信・ 佐藤比呂 志・松原 誠・T. E. Yano・小 池太郎・野 田克也	高分解能反射法地震探査から 明らかになった中央構造線活 断層系(四国地域)の地下形状	日本地球惑星科学連合 (千葉) (口頭発表)	2019年5月 29日
加藤直子・ 石山達也・ 佐藤比呂 志・越谷 信・小池太 郎・野田克 也	中央構造線活断層系(愛媛・ 徳島地域)を横断する高分解 能反射法地震探査	日本地球惑星科学連合 (千葉) (ポスター発 表)	2019年5月 29日
石山達也・ 佐藤比呂 志・加藤直 子・松原 誠・ヤノ・ トモコエリ ザベス・阿 部 進・東 中基倫	近畿地域の震源断層モデル	日本地震学会 2019年度秋 季大会	2019年9月 17日

#### (b) 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定

##### 1) 特許出願

なし

##### 2) ソフトウェア開発

なし

##### 3) 仕様・標準等の策定

なし

(2) (サブテーマ2)

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

なし

(b) 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定

1) 特許出願

なし

2) ソフトウェア開発

なし

3) 仕様・標準等の策定

なし

(3) (サブテーマ3)

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Matsubara M. and T. E. Yano	Crustal seismogenic layer at active faults inferred by background seismicity and temperature data in Japan	南カリフォルニア地震センター年次総会 (パームスプリングス) (ポスター発表)	2018年9月10日
Yano T. E. and M. Matsubara	Crustal seismogenic layer beneath Japanese Islands estimated from high resolved hypocenter catalog and heat flux data	日本地球惑星科学連合 (千葉) (口頭発表)	2018年5月22日
Matsubara M., T. E. Yano and H. Sato	三次元速度構造を用いて再決定したカタログを用いて推定した近畿地方の地震発生層の下限	日本地球惑星科学連合 (千葉) (口頭発表)	2018年5月22日
Matsubara M and T. E. Yano	Depth of seismogenic layer at the 2018 North Osaka and the 2018 Hokkaido Eastern Iburi earthquake sites	27th IUGG General Assembly (Montreal, カナダ) (ポスター発表)	2019年7月16日
T. E. Yano and M. Matsubara	Depth of Seismogenic Layer at the 2018 North Osaka and the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake Sites	日本地球惑星科学連合2019年大会 (千葉市) (ポスター発表)	2019年5月29日

(b) 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定

1) 特許出願

なし

2) ソフトウェア開発

なし

3) 仕様・標準等の策定

なし

(4) (サブテーマ4)

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
石川正弘	本州弧の地殻深部及び最上部 マンツルの構成岩石の推定	日本地球惑星連合学会 2018年大会(千葉市)(口 頭発表)	2018年5 月22日

(b) 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定

1) 特許出願

なし

2) ソフトウェア開発

なし

3) 仕様・標準等の策定

なし

(5) (サブテーマ5)

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

なし

(b) 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定

1) 特許出願

なし

2) ソフトウェア開発

なし

3) 仕様・標準等の策定

なし